

新年のご挨拶

大阪南医療センター 院長

小田 剛紀

新年あけましておめでとうございます。皆様には、健やかに新春を迎えられたこととお慶び申し上げます。

2020年からの新型コロナウイルス感染症は医療の現場のみならず社会に多大な影響を及ぼしました。「医療現場は平時から感染対策を確実に遂行すること」がこのパンデミックの重要な教訓の一つです。病院でのマスク着用や面会時の注意事項は継続されますが、医療現場において皆様の安全を確保することが第一であることへのご理解をお願い致します。

また医療を取り巻く環境は、経済的なことも含め厳しい情勢が続きます。当院としましては、引き続き南河内医療圏における地域の中核を担う医療機関として、患者ファーストの視点を第一に貢献していきたいと考えております。地域医療施設の皆様におかれましても、なお一層のご支援、ご鞭撻をお願い申し上げます。

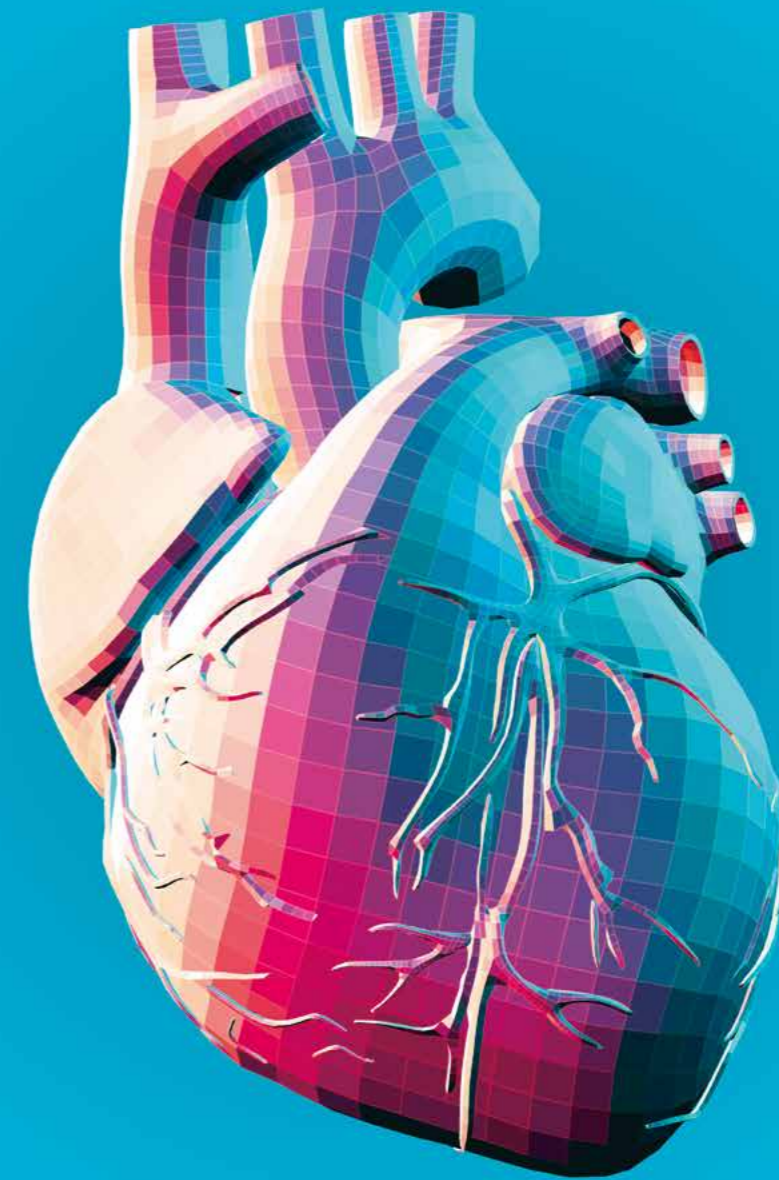
さて今年辰年です。十二支の中で「龍」は実在しない唯一の想像上の動物ですが、何故入ったのでしょうか？諸説あるようですが、古代中国において龍は「神獣・靈獣」とされ、皇帝・国王の象徴としてあがめられ、想像上の生き物ではなく実在する動物と捉えられていたため、龍を十二支に入れないということは考えられなかった、ということのようです。2024年が神聖な龍のもと、新型コロナウイルス感染症のダメージから立ち直り、活気ある年であることを期待しましょう。

本年もどうぞよろしくお願い申し上げます。



MINAMI MADO

2024.1. No.41



大阪南医療センター 循環器疾患センター



胸背部痛、呼吸困難、動悸等
循環器疾患が疑われる際には
緊急対応連絡先へご連絡ください。

24時間緊急対応 (ハートコール)

直通 TEL : 0721-53-3200



Instagramはこちら ▶



LINEはこちら ▶



365日24時間体制の 急性冠症候群に対する緊急カテーテル治療

24時間体制で、急性心筋梗塞や不安定狭心症などの急性冠症候群患者を受け入れ、迅速に緊急心臓カテーテル検査ならびに血行再建術を施行します。その後はCCUにて管理します。担当の循環器科医がハートコールを常時携帯し、救急要請に対応します。急性冠症候群を疑う場合はいつでも紹介をお願いします。



個々の症例に対する最適な血行再建を実施

冠動脈のカテーテル治療はバルーン、金属ステント、薬剤溶出性ステントと進化してきましたが、最近では薬剤コーティングバルーンを使用することでステント留置を必要としない症例が約半数を占めるようになりました。これにより冠動脈のカテーテル治療は患者さんにとってこれまで以上に安全で有効なものになってきています。



循環器科 × 心臓血管外科

[Cardiology × Cardiovascular surgery]



副院長
循環器疾患センター部長
長谷川 新治

心臓血管外科部長
工藤 智明

虚血性心疾患症例に対して、循環器科と心臓血管外科で迅速に検討し、治療方針を決定します。適切な内服治療を行ったうえで、カテーテルインターベンションや冠動脈バイパス術の適応を的確に判断し、治療します。